山本 優人 議員

材育成で町を変えよ

若者がいるのに、果

減少が続いても、質の高成に取り組むことで人口町の将来のため人材育

あり夢や理想を提言する

位と低いが、当町の状況学率が秋田県は全国で43どうなっているのか。進

は喜ばしいことだ。今後

基本

・法の下での義務教育

については、

地域が連

う姿勢が強く表れ

はどうなのか

携して関わっていくべ

き

に基づく基礎学力の定着の段階では学習指導要領

がもっ

とも重要なもので

の保証

ないと思い証の観点

と考える。

やる気、

元気が

レベル、 位優先の予算や事業の機 輩出することで行政が優レベルで活躍できる人材 表されても秋田県人はい 査の八峰町の結果はどう 会を得ることが ではないだろうか。 れているのか。 てその声は町政に反映さ 24年度全国学力状況調 官僚のト 八峰町かり 国レベル ップ人事が発 できる ?ら大企業 7、世界 の

う、

各分野での専門職員

サ

ビスを行えるよ

学進学率、 率 は 98 ・

4

%である。

 \wedge

 \mathcal{O}

は個人情報との

関係もあり学校別発表の

公表しかないので理解

か。

役場職員の総合力を高

育てようと考えている

の

より低いという点につい大学進学率が全国平均

えるがどのように教育 の配置も有意義な策と考

4

ただきたい。

な職員配置構想はないのできるが、もっと専門的めるため定期異動も理解 では5回連続して全国ト査の結果について秋田県 答弁(教育長) プクラスの成績を収 学力調

せざるを得ない状況下いることも考えると断

進学状況は

で約600万円、私立大でかかる費用が国立大学千円と低く、大学4年間

の平均所得が235万4 ては秋田県民1人当たり

を収めている。 県の平均値を上回る成 特に当町の子どもたち)平均値を上回る成績八峰町は今年も秋田 にあるのも現実だ。 念せざるを得ない 学で900万円と試算し

回答は白紙回答が少な 挑戦してみようとい 施している。 してもらえるよう、 もっとサル害対策に 力を入れよ

何 か。 追い上げてもらい 別な対策はあるの があれば職員が駆けつけ や爆竹を配布し町民から じている。ロケット花火えられる対策はすでに講 やる対策を考えないか。 ③ 電 気 柵 たり猟友会にも出動 駆除でも減らない原因は ②稲作や野菜の農家に特 答弁(町長) 里山から山へ追い 銃による ①町で考 か。 通報



は。利用する対策につ 自然エネルギ

住宅地寸前まで来ている質問 ①サルの群れが 政子 議員 見上 るが まれたサルは簡単に奥山門家によれば、里山で生害額も減少している。専害の状況と推測される。被い状況と推測される。被 業は継続していく。 国の補助事業や交付

害額も減少している。こい状況と推測される。こ頭数は若干減少し、横 が増えたことにより生息③銃や檻による捕獲頭数 に半額補助を行ってお 独事業で電気柵や爆音機でいる。今年度から町単 業を活用し効果を上げ 来年度以降もこの事 横ば



へ戻らないということで 検討を要する。 ずしも最善策かどうかは するには奥山に追いやる再質問根本的に解決 啓蒙に努める。 方法しかないと思うが。 答弁(町長) 被害を少なくするよう

それが必

当町の計画は

問計画を進めるた

事の対策は。

を継続していく。

小水力発電導入 の考えはな いか

を利用した小水力発電や

> んでいるのか。 続しつつ、 力しながら啓発活動を行 続しつつ、県と連携・協き今までの取り組みも継 定している。 ら5年間の基本計 画として、 答弁(町長) の審議会はどこまで進 様々な分野での る。それに基づ の基本計画を策



戻らないという・・・

里山で生まれたサルは簡単に奥山へは

それぞれの公共施設等の金や補助事業で、今後はど課題が多い。国の交付 置コストや慣行水 や太陽光発電の再生可 立地場所に適した地中熱 いては エネルギ 男女共同参画

小水力発電は設

が利権な

全国学カテスト順位(2012年度	
順位	都道府県
1	秋 田 県
2	福 井 県
3	石 川 県
4	富山県
5	青 森 県
6	東京都
7	香 川 県
8	茨 城 県
9	山形県・広島県

へは出来るだけ利用

われる。 画であり、 人材活用を 現 在

行中でさらに職員数が減の専門職配置についてはの専門職配置については して 少する計 今後も情勢の変化が無 場合は民間の 保健師や保育士など必要 部署には配置しており、

八峰町議会だより 第26号 (平成24年10月10日発行)

導入を推進